



健康長寿の福井

平成27年8月7日

電源地域振興課

担当者：吉川、加藤

電話：0776-20-0230

代表(内線)：0776-21-1111 (内線2320)

メール：dengen@pref.fukui.lg.jp

アジア原子力協力フォーラム (FNCA) 「人材養成プロジェクト」
ワークショップが開催されます

福井県が推進する「エネルギー研究開発拠点化計画」では、国内外の原子力人材の交流促進を図るため、国際会議の誘致活動を進めています。

このたび、文部科学省主催のみだしのワークショップが、下記のとおり、8月19日(水)から3日間にわたり、福井県国際交流会館において開催されることになりましたので、お知らせします。

記

- 日程 平成27年8月19日(水)～21日(金)
- 場所 福井県国際交流会館2階 第1会議室
- 主催 文部科学省
- 後援 福井県、福井大学、(公財)若狭湾エネルギー研究センター
- 実施 (公財)原子力安全研究協会
- 内容 別紙のとおり
- 参加者 1.9名(アジア10か国：10名、国内：9名)
※公開セミナーは除く
- 取材案内 取材は、8月19日(水)の開会セッション(9:30～10:10)および21日(金)の公開セミナー(10:00～12:30)の時間内に、お願いします。

添付ファイル1



【添付①】FNCAワークショッププログラム.pdf

添付ファイル2



【添付②】オープンセミナー案内.pdf

添付ファイル3



【添付③】FNCAワークショップ参加者名簿.pdf

添付ファイル4



【添付④】(参考)FNCAの概要.pdf

アジア原子力協力フォーラム（FNCA）
「人材養成プロジェクト」ワークショップ プログラム

8月19日（水）

【会場：福井県国際交流会館第一会議室】

開会セッション

- ・開会挨拶 山村 司 文部科学省研究開発局核不拡散科学技術推進室長
- ・歓迎挨拶 旭 信昭 （公財）若狭湾エネルギー研究センター理事長
- ・参加者紹介等

セッション1：FNCAと人材養成プロジェクトの概要

セッション2：原子力計画の推進のためのステークホルダー・インボルブメントの国家
政策

特別セッション：ステークホルダー・インボルブメントのための科学コミュニケーター

8月20日（木）

セッション2：ステークホルダー・インボルブメントの重要性と課題に関する円卓会議

セッション3：原子力コミュニケーター育成の国家戦略

セッション4：2016年の人材養成ワークショップの計画

閉会セッション

8月21日（金）

【会場：福井県国際交流会館第一会議室】

公開セミナー：「アジアにおける原子力発電・原子力利用の展望」

※内容は別添参照

施設見学：原子力の科学館「あっとほうむ」

文部科学省主催
「アジアにおける原子力発電・原子力利用の展望に関する公開セミナー」
開催のご案内

文部科学省ではアジア原子力協力フォーラム（FNCA）において原子力人材養成の活動を実施しております。この活動の一環として、この度、公開セミナーを下記の要領で開催することと致しました。アジア地域における原子力発電及び放射線利用の現状について理解を深めて頂ける機会です。多数の方々のご参加をお待ちしております。

- 主 催 : 文部科学省
- 後 援 : 福井県、公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター、国立大学法人福井大学
- 開催日時 : 平成 27 年 8 月 21 日(金)10:00~12:30
- 開催場所 : 福井県国際交流会館 2 階 第 1 会議室
- 言 語 : 英語（質疑は日英逐次通訳あり）
- プログラム : 開会挨拶 : 山村 司 文部科学省 研究開発局 核不拡散科学技術推進室 室長
- 講演 : 1) 急速に発展する中国の原子力発電の展望
発表者:Mr. LIU Run 中国広核集団（CGN）
- 2) オーストラリアにおける多目的研究炉利用の成功例
発表者:Dr. Herma BUTTNER オーストラリア原子力科学技術機構（ANSTO）
- 3) マレーシアの産業・農業における放射線利用の成功例
発表者:Dr. Dahlan Bin HJ. MOHD マレーシア原子力庁
- 4) 福井県における原子力発電の発展
発表者:吉川幸文 福井県総合政策部電源地域振興課 課長
- 5) 原子力発電の安全に関する ANSN 講師育成研修
発表者:北端 琢也 公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター
福井県国際原子力人材育成センター長
- 6) アジア原子力協力フォーラムのサクセスストーリー
発表者:山村 司 文部科学省 研究開発局 核不拡散科学技術推進室 室長
- 閉会挨拶: 梅田 武彦 福井県 総合政策部 企画幹（エネルギー研究開発拠点）
- * プログラムの一部を変更することもございます

会場へのアクセス

福井県国際交流会館 2階 第1会議室
〒910-0004 福井県福井市宝永3丁目1-1
※裏面地図参照

お申込み方法

どなたでもご自由にご参加頂けます。
お名前、ご所属を記載の上、電子メールまたはFAXでお申し込みください。

お申込み、お問合せ先

（公財）原子力安全研究協会
国際研究部 担当:長井 愛子
〒105-0004 東京都港区新橋5-18-7
TEL:03-5470-1983 FAX:03-5470-1991
電子メール:ainagai@nsra.or.jp

会場へのアクセス（地図）



◇ ご案内 ◇

【徒歩の場合】 JR 福井駅から約 15 分(タクシーをご利用の場合約 5 分)

【お車の場合】 福井 IC または福井北 IC から約 20 分

FNCA「人材養成プロジェクト」ワークショップ 参加者

【海外参加者】

- オーストラリア
 - ・オーストラリア原子力科学技術機構 科学リエゾン シニアアドバイザー
ヘルマ・ガートルード・ブトナー (Dr. Herma Gertrud BUTTNER)
- バングラデシュ
 - ・バングラデシュ原子力委員会 国際部部長/IAEA 担当
カナイラル・チャクラボーティ (Mr. Kanailal CHAKRABORTY)
- 中国
 - ・中国広核集団 組織・計画マネジャー
リウ・ラン (Mr. LIU Run)
- インドネシア
 - ・インドネシア原子力庁 教育訓練センター センター長
スディ・アリヤント (Dr. Sudi ARIYANTO)
- カザフスタン
 - ・カザフスタン国立原子力センター 研究所所長
ウラディミール・ビチュク (Mr. Vladimir VITYUK)
- マレーシア
 - ・マレーシア原子力庁 管理プログラム専務理事
ダーラン・ビン・ハジ・モード (Dr. Dahlan Bin HJ. MOHD)
- モンゴル
 - ・モンゴル原子力委員会 人材専門家
ツェレンドルジ・オトゴンツェツェグ (Ms. TSERENDORJ Otgontsetseg)
- フィリピン
 - ・フィリピン原子力研究所 原子力研究部 副部長/主任 担当官
ソレダード・S・カスターネーダ (Dr. Soledad S. CASTAÑEDA)
- タイ
 - ・タイ原子力技術研究所 原子力研究・開発部 部長
ニパヴァン・ポラマティクル (Ms. Nipavan PORAMATIKUL)
- ベトナム
 - ・ベトナム原子力研究所 原子力技術センター センター長/主任研究者
トラン・クオック・ズン (Dr. TRAN Quoc Dung)

【国内参加者】

- FNCA関係者
 - ・人材養成プロジェクトリーダー 山下 清信
(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力人材育成センター 統括アドバイザー)
 - ・人材養成プロジェクト 委員 飯本 武志
(東京大学 環境安全本部 准教授)
 - ・人材養成プロジェクト 委員 泉 佳伸
(福井大学附属国際原子力工学研究所 教授)
- その他
 - ・文部科学省、福井県、(公財)若狭湾エネルギー研究センターほか

アジア原子力協力フォーラム

(FNCA : Forum for Nuclear Cooperation in Asia) の概要

1 FNCAとは

我が国の内閣府と文部科学省が中心となって進めているアジア諸国との原子力技術の平和利用における国際協力の枠組み。

2 参加国

オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム（12か国）

3 枠組み

(1) FNCA大臣級会合

原子力を所管する大臣級代表による会合と上級行政官による会合で構成。協力方策や原子力政策について討議。

(2) コーディネーター会合

各国1名のコーディネーターにより、協力プロジェクトの成果と評価、推進方針、新提案ならびにFNCAの運営全般に関わることを審議。

(3) パネル会合

原子力発電の基盤整備に関わる取組みの実際の経験を、FNCA参加国の担当上級行政官および有識者で共有し、各国および国際協力の取組みに生かすため討議を展開。2009年度から、「原子力発電のための基盤整備に向けた検討パネル」を設置。

(4) 個別プロジェクトについての協力活動

放射線利用および原子力基盤に係る4分野10プロジェクトについて、FNCA参加国が持ち回りでワークショップを開催し、活動の成果と計画を討議。

< FNCA 10プロジェクト >

○研究炉利用開発分野	○原子力基盤強化分野
・研究炉ネットワーク	・人材養成（※）
・中性子放射化分析	・核セキュリティ・保障措置
○原子力安全強化分野	○放射線利用開発分野
・原子力安全マネジメントシステム	・放射線治療
・放射線安全・廃棄物管理	・放射線育種
	・バイオ肥料
	・電子加速器利用

※人材養成プロジェクトでは、原子力分野の人材育成におけるアジア各国のニーズ把握、情報交換や協力のあり方を検討し、協力活動や相互支援を通じて、人材育成の交流と原子力技術基盤の強化を推進。

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の構成

